

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 4月9日

京都府知事 様



提出者

住所 埼玉県朝霞市西原一丁目1番1号

氏名 株式会社武蔵野

代表取締役 安田 信行

法人番号 1310000000000000000

電話番号075-972-2811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	(株)武蔵野 京都工場
事業場の所在地	京都府八幡市戸津水戸城55
事業の種類	0997 寿司、弁当製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4920t	全処理委託量	4920t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	3350t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4500t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	820t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動植物性残渣)

※産業廃棄物の種類が複数ある場合は、第2面を複写し、一種類ごとに記入してください。

有償物量	①	排出量	2043	②	自ら直接再生利用した量	③	自ら中間処理した後再生利用した量	④	自ら中間処理した量	⑤	④のうち熱回収を行った量	⑥	自ら中間処理した後の残量	⑦	自ら中間処理により減量した量	⑧	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	2043	⑨	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	2043
不燃物等発生量																							

項目	実績値
①排出量	2043
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2043
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑨再生利用業者への処理委託量	2043
⑧熱回収認定業者への処理委託量	0
④熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

※産業廃棄物の種類が複数ある場合は、第2面を複写し、一種類ごとに記入してください。

計画の実施状況		有償物量		不要物等発生量		排出量		実績値	
項目	実績値	1910	1910	1910	1910	1910	1910	1910	1910
①排出量		1910							
②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜+㉝+㉞+㉟+㊱+㊲+㊳+㊴+㊵+㊶+㊷+㊸+㊹+㊺+㊻+㊼+㊽+㊾+㊿		0							
⑤自ら熱回収を行った量		0							
⑦自ら中間処理により減量した量		0							
③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜+㉝+㉞+㉟+㊱+㊲+㊳+㊴+㊵+㊶+㊷+㊸+㊹+㊺+㊻+㊼+㊽+㊾+㊿		0							
⑩全処理委託量		1910							
⑩優良認定処理業者への処理委託量		1910							
⑩再生利用業者への処理委託量		1910							
⑩熱回収認定業者への処理委託量		1910							
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0							
⑩熱回収を行う業者への処理委託量		0							

②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量
		1910

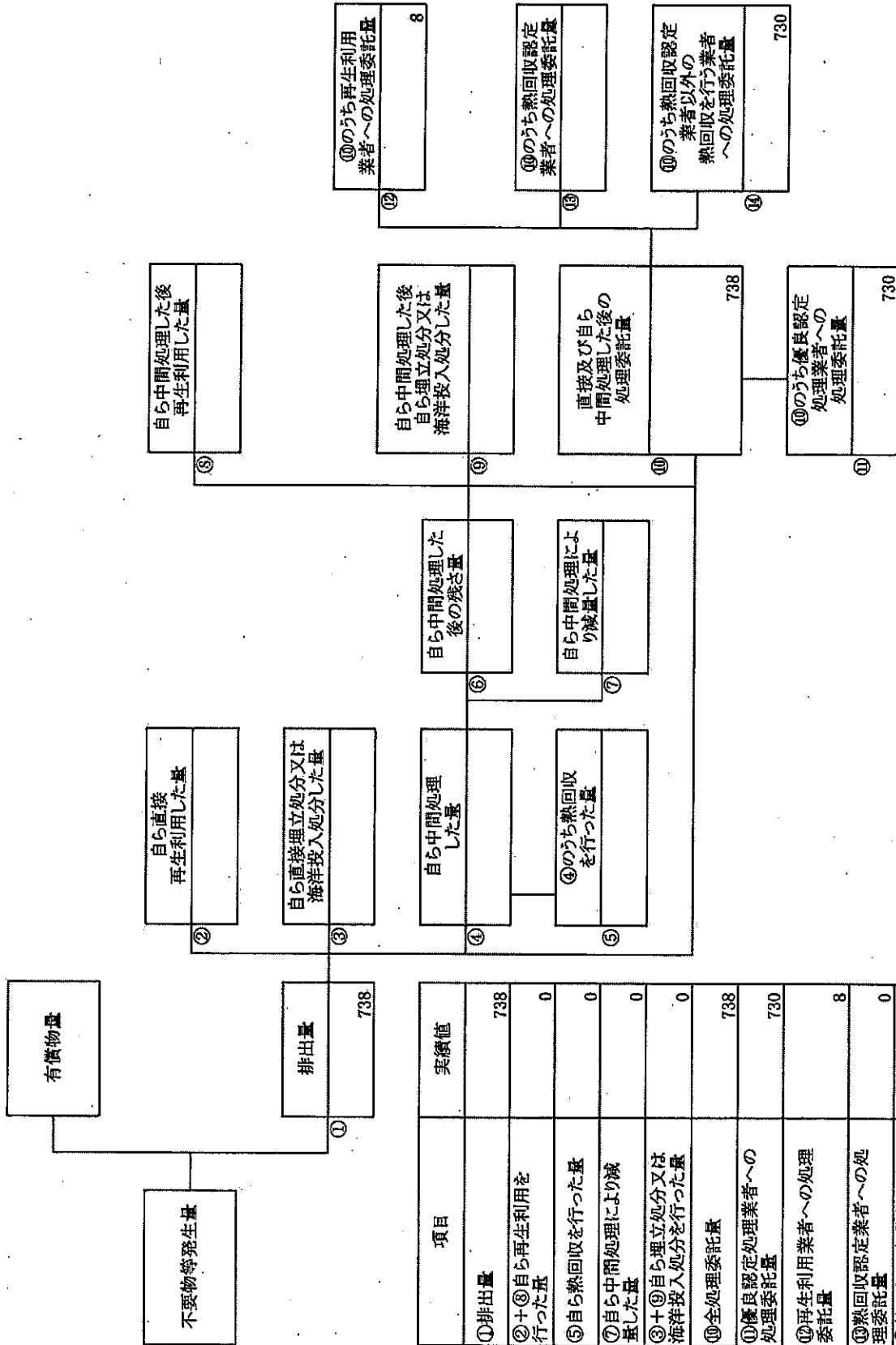
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

④自ら中間処理した量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量

⑤④のうち熱回収を行った量	⑨直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
		1910

(産業廃棄物の種類: 廃プラ)

※産業廃棄物の種類が複数ある場合は、第2面を複写し、種類ごとに記入してください。

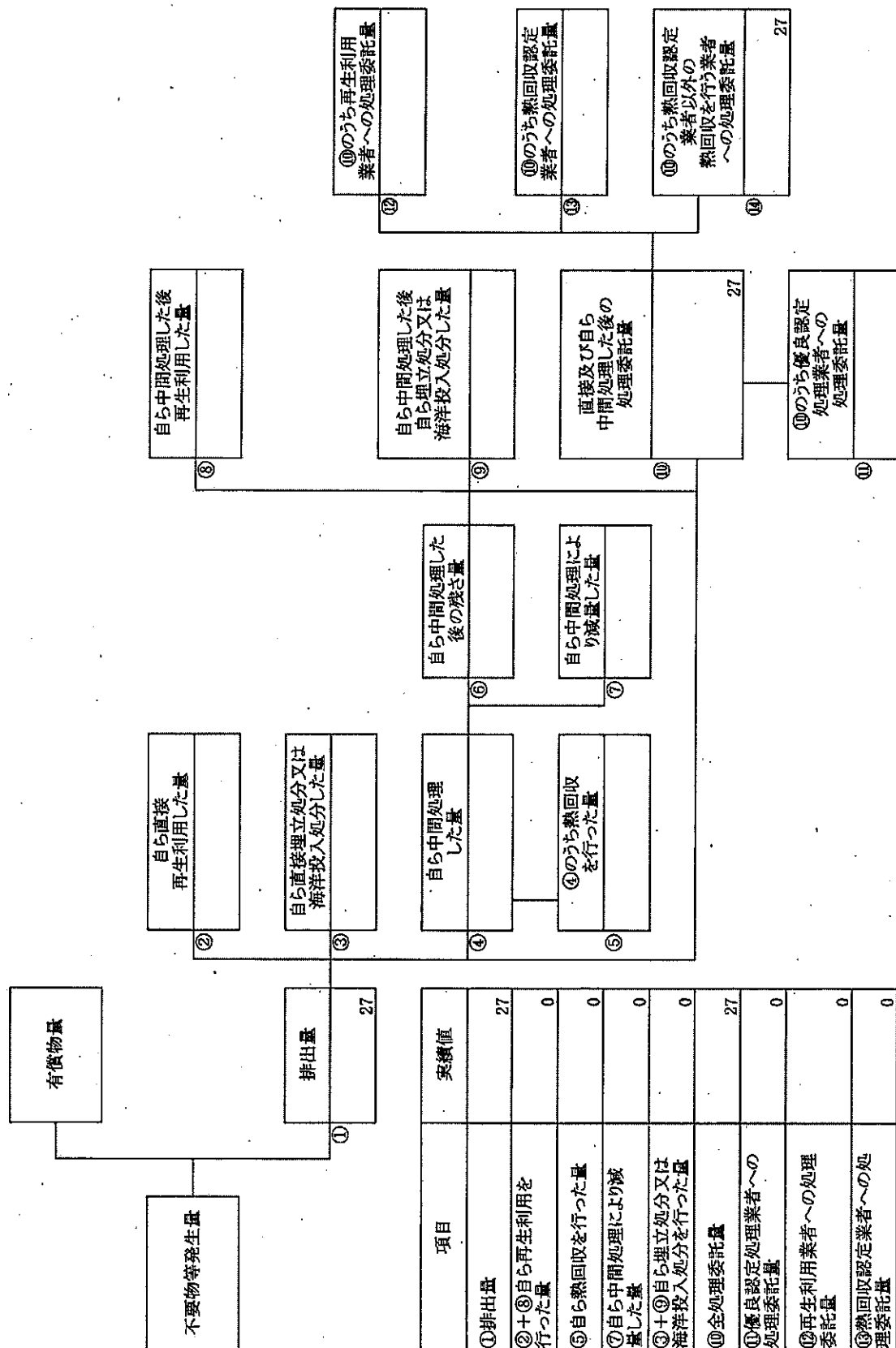


項目	実績値
①排出量	738
②+③自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	738
⑪優良認定処理業者への処理委託量	730
⑫再生利用業者への処理委託量	8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行つた業者への処理委託量	730

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:混合廃棄物)

※産業廃棄物の種類が複数ある場合は、第2面を複写し、一種類ごとに記入してください。



項目	実績値
①排出量	27
②+③自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	27
①優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	27

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。